

物語を読んで、感想文を書こう。
めあて

物語の大体の内ようを読み取ろう。

●感想文を書くための三つのコツ

コツ一 物語の内ようを読み取る。

コツ二 「初め」「中」「終わり」の組み立てで書く。

コツ三 思ったことや感じたことを表す言葉を使う。

●「だれが」「どんなことをしたか」

いつ(時) 一月一日

どこで(場所) 友達のビクターとさんぽのとちゅう

だれが(登場人物)

- ★ ゼノビア (ノービー)
- ★ ビクター
- ★ ママ

何が起こった(出来事)

一月一日に自分の生まれた年の一セント玉を拾うと三つのお願いがかなうという言い伝えが、本当にゼノビアに起こった。

どうなった(結末)

親友とけんかしたが、なかなかおりました。三つのお願いがかなった。
「どんぴしゃり。お願いがかなった。」

【2 / 9時間目 指導略案】 使用するワークシート「三つのお願い」②
本時のねらい

「読む視点」に沿って読ませ、物語の内容を捉えさせる。

1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確かめる。

- 感想文を書くための三つのコツを押さえる。
- ワークシート②を配り、記名させる。
- 感想文を書くために、コツ一 物語の内ようを読み取る。ことを知らせる。
- ※ 提示物コツ二に印を付けると児童にも分かりやすいと思います。
- 感想文を書くためには、しつかり内容を読み取ることが大切であることを知らせる。
- 本時は、物語の大体の内容を読み取っていくことを知らせる。

2 物語を読む視点を確かめる。

- 物語の内容を捉える際の視点を思い出させ、発表させる。
- ※ 児童は、これまで、物語を読む際には(時・場所)(登場人物)(出来事)(結末)を捉えることなどを繰り返し学習してきました。
- 教科書五十四ページ上段の手引きを参考に、視点を確かめさせる。

3 「三つのお願い」を通読する。

- 視点に沿って読ませるために、黙読させる。

4 視点に沿って読み取ったことをワークシート②にまとめる。

- どの記述で分かるのか、発表させて確かめさせる。
- ここで確かめた視点が、感想文を書くときに生かせることを知らせる。
- 三つのお願いのそれぞれの内容については、次時に学習することを伝える。

評価 「読む視点」に沿って読み、物語の内容を捉えている。(読ウ)

5 本時の学習の振り返りをして、次時の学習について見通しをもつ。

- ワークシート②で自己評価をさせる。
- あらすじだけでは感想文にならないことを押さえ、自分の考えや体験を書き加えていくために、次時はそれぞれのお願いについて詳しく読んでいくことをワークシート①で確かめさせる。